

# あきまる 秋麻呂くん 通信



『秋田城』と、  
みんなの絆を  
つなぎたいから。

## 政庁と史跡公園 連絡橋特集

令和3年7月31日秋田城跡歴史資料館



秋麻呂くん

秋麻呂くん通信は、皆さんに秋田城のことをよく知ってもらい、秋田城との絆を深めてもらうための情報誌です。

今回は、最北の古代城柵秋田城の中心施設である政庁と、現在政庁跡西側に整備が進められている史跡公園連絡橋についてご紹介します。道路の開削で失われた政庁の復元を兼ねた連絡橋が整備され、東側の史跡公園と西側の歴史資料館が結ばれた新しい秋田城跡の姿が見られるようになります。



## 古代城柵秋田城とその中心施設政庁



■秋田城跡周辺の航空写真(南西から)  
手前に見える緑の多い辺りが秋田城跡

秋田城跡は秋田市寺内に所在する国指定史跡で、奈良～平安時代にかけて律令国家によりこの地に置かれた城柵と呼ばれる大規模な役所の跡です。歴史書『続日本紀』天平5年(733)条には「出羽柵を秋田村高清水岡に遷し置く」との記載があり、出羽柵を前身として秋田城の歴史が奈良時代から始まったことがわかります。

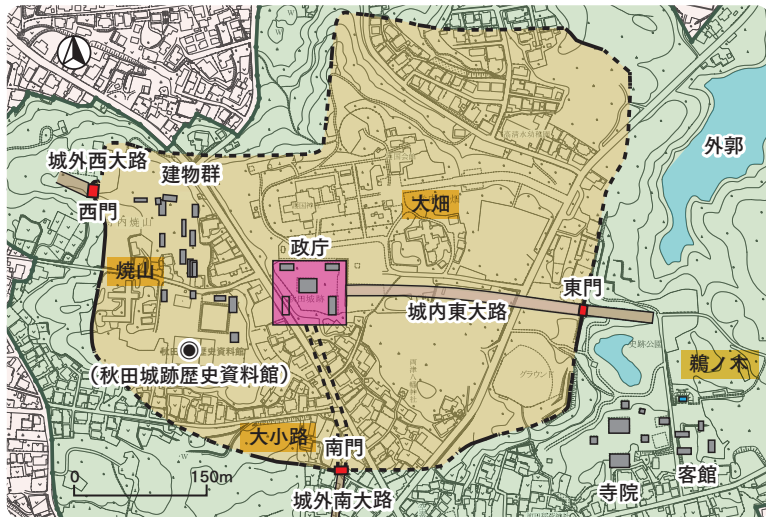
昭和34年から4カ年の国営調査、昭和47年から現在に至るまで秋田市による発掘調査が行われ、歴史的に貴重な遺物や重要な遺構が数多く発見されています。その成果は資料館で公開展示されています。

発掘調査により、秋田城は中心施設である政庁と、城の周囲を城壁で囲む二重の構造であることがわかりました。これは平城京などの都城をモデルとしています。

政庁は、城壁に囲まれていた東西南北約550mの範囲のほぼ中央に位置する重要な施設です。



政庁は秋田城の中心にある重要な場所なんだね!



■秋田城跡主要施設配置図



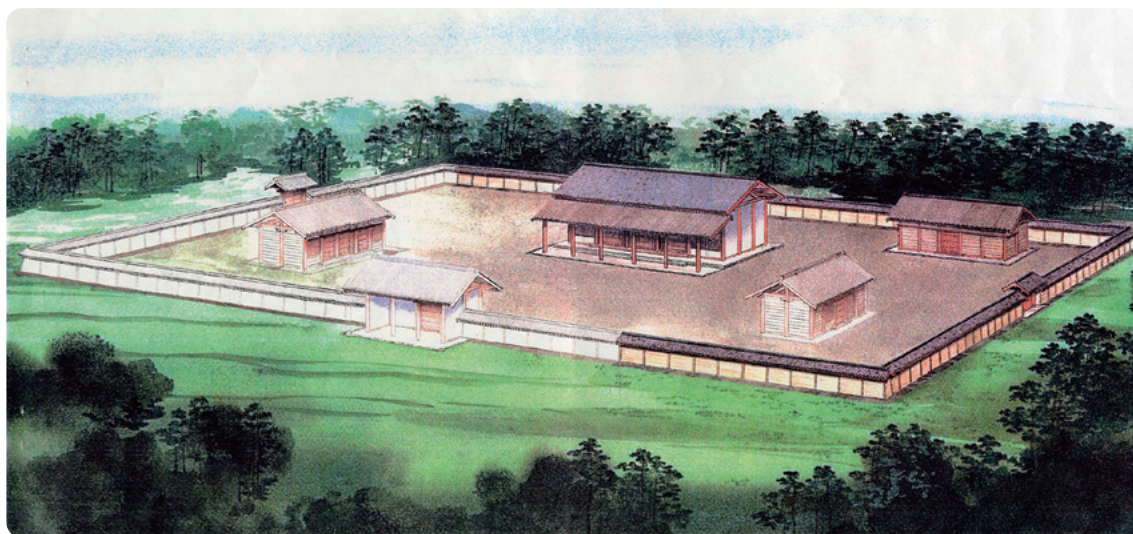
## 秋田城の中心施設政庁 —その形と役割—

政庁は重要な政務や儀式などが行われた、秋田城の中心となる施設です。中心建物である正殿の南側に広場を設け、その左右に脇殿があり、それらを築地塀などによって取り囲んでいたことが発掘調査でわかりました。

政庁は東西約94m、南北約77mの範囲を、奈良時代は粘土を突き固めた築地塀(土塀)で、平安時代は材木塀で囲まれていました。出入口の門としては、東門のみが確認されています。創建当初の奈良時代前半の築地塀は、正殿とともに当時最北の瓦葺き施設であり、古代国家の威厳を示す壮麗な外観でした。

秋田城は出羽国の国府である出羽柵として創建され、最北の城柵として蝦夷の人々への支配や交易、大陸の渤海国との外交などの役割も担っていました。政庁では出羽国の重要な政務が行われ、また、北方の蝦夷の人々や渤海国の使者などが訪れ、儀式や饗宴が行われていたと考えられます。

政庁は約200年にわたり中心施設であり続け、同じ場所で6回の建て替えが行われました。平安時代の10世紀中頃には、城とともにその役割を終え、土に埋もれていきました。



政庁推定復元図



発掘された東脇殿跡(北から)



発掘された正殿跡(東から)

政庁正殿の南側正面に秋田・山形の県境にある鳥海山が見えます。

鳥海山は古代の出羽国を象徴する信仰の対象であった霊峰であり、政庁はこの眺望も意識した重要な儀式の場であったと考えられます。



立派なお役所があったんだね!





## 整備された政庁 一政庁と城内東大路一



復元整備された政庁(北東から)

現地には、明治時代の道路の開削により失われた南西側を除き、政庁東門や瓦葺きの築地塀、建物跡などが復元されています。



政庁東門と復元された城内東大路(東から)

政庁から外郭東門<sup>がいかくひがしもん</sup>に向かう道を城内東大路と言います。調査により確認された幅約12mの奈良時代の道路跡が復元されています。



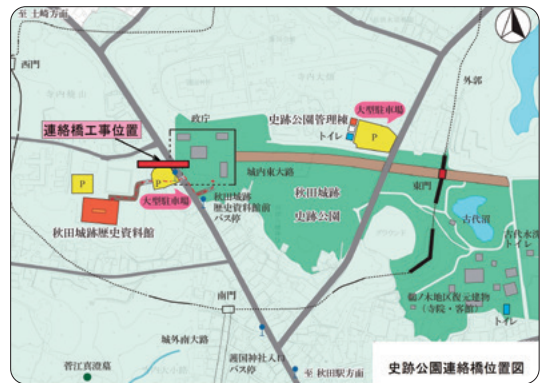
## 失われた政庁の遺跡 一羽州街道から明治時代の道路開削へ一

古代城柵秋田城の存在は、次第に人々から忘れられていきました。

江戸時代になると城跡を久保田城下から土崎湊<sup>つちぎみなと</sup>へ向かう羽州街道<sup>うしゅうかいどう</sup>が通るようになりました。『秋田街道絵巻』には、政庁跡付近と思われる場所の西側を通る羽州街道と、そこを上り降りする人々が描かれています。

明治時代になり、明治天皇の秋田ご巡行に合わせ、明治9年に街道の政庁付近の開削、切り通し工事が行われました。その際に残念ながら政庁跡の西側三分の一が失われたと考えられます。道路の開削により、かつては同じ高さでつながっていた地面が大きく削られて地形が変わり、城跡の東西が分断されることとなりました。

現在、西側の焼山地区と東側の政庁をはじめとする史跡公園をつなぐ史跡公園連絡橋が整備され、令和4年3月の完成を予定しています。



史跡公園連絡橋整備位置図



政庁付近を通る羽州街道の風景

図の右上に両津八幡神社がみえる。図左側の坂道付近が政庁跡と推定される。『秋田街道絵巻上巻』古四王神社～土崎湊部分(伝荻津勝孝作・秋田市立千秋美術館所蔵より)



道路が開削された場所に史跡公園連絡橋を整備中



## 史跡公園連絡橋の整備 一政庁の復元と史跡の東西一体化に向けて

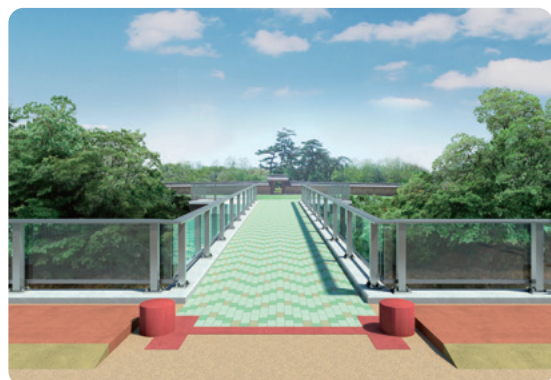
現在、市道土崎保戸野線(通称「旧国道」)で分断されている史跡西側の歴史資料館と東側の史跡公園を結び、史跡の東西を一体化する史跡公園連絡橋を整備しています。

この連絡橋は道路の東西両側に橋台があり、西側に広場、東側にデッキのある長さ18.6メートルの歩道橋です。橋の整備に合わせて明治時代に行われた道路の切通しで地面が削られてしまった場所に政庁西門や城内西大路などの遺跡の復元も行います。

古代城柵の中心部に復元整備を兼ねた全国的にも例がない橋がつくられます。



■ 史跡公園連絡橋完成予想図



■ 連絡橋広場から政庁方向をみた完成予想図



■ 映像で再現される政庁西門の姿(推定図)

昔は今の道路の上に政庁があって、地続きだったんだね!



連絡橋の西側広場は、かつて政庁西門があった場所です。広場には門と両側の築地塀の位置が表示されます。さらに最新のAR(拡張現実)アプリでスマートフォンなどを使って、当時の門や塀、政庁の建物などの再現映像を見ることができるようになります。

秋田城跡の各種事業やイベントに関するお問い合わせは

秋田市立秋田城跡歴史資料館

〒011-0907 秋田市寺内焼山9番6号

[TEL] 018-845-1837 [FAX] 018-845-1318

[E-Mail] ro-edac@city.akita.lg.jp

[URL] <https://www.city.akita.lg.jp/kanko/kanrenshisetsu/1003616/index.html>

【開館時間】午前9時～午後4時30分

【休館日】年末年始(12月29日～1月3日)

